ドイツ語4

科目ナンバー　0A233
総合基礎　　選択　　1単位

金成　祐人

1. 授業の概要（ねらい）

ドイツはEU経済の中心であり、美しい町並みや自然景観、音楽や文学、哲学などの魅力溢れる国です。この講義では、初級レベルの文法事項を復習しながら、ドイツ語の読みやすい文章を読解します。反転授業形式とし、訳読担当者の訳を参加者で検討しながら、構文や文法事項を確認していきます。辞書があれば標準的なドイツ語を自力で読めることを目指します。

なお、この授業は、総合基礎科目の学修目標1、2、3に関連します。

2. 授業の到達目標

・学生は、ある程度の長さのドイツ語の文章を読み解くことができる。（技能）
・学生は、ドイツ語で挨拶や自己紹介など簡単なコミュニケーションが取れる。（技能）
・学生は、ドイツ語で簡単な文を書ける。（技能）
・学生は、日常的なドイツ語会話を聴き取り理解することができる。（技能）
・学生は、初級レベルの文法知識を習得する。（知識・理解）

3. 成績評価の方法および基準

訳読担当：60%、小テスト：40%
訳読担当について、講義内でフィードバックを行ないます。また、小テストについて、LMS 上でフィードバックを行ないます。

4. 教科書・参考文献

教科書
斎藤太郎／Siegfried Kohlhammer　『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』　朝日出版社、2018年
ISBN: 978-4255254036
参考文献
在間進編　『アクセス独和辞典』第4版　三修社、2021年
ISBN：978-4384060003
（他の辞書でも可）
在間進編　『アクセス和独辞典』　三修社、2012年
ISBN：978-4384043211
（他の辞書でも可）
常木実　『標準ドイツ語』（新訂版）　郁文堂、1970年
ISBN：978-4261070972

5. 準備学修の内容

・準備学修として、次回の講義範囲について文法事項や単語の意味を調べてノートにまとめてください。（60分）
・事後学修として、文法事項や単語を確認し、訳読で間違ったものをノートにまとめてください。また、テクストの音声を活用し、発音・聴き取りの練習をしてください。（30分）

6. その他履修上の注意事項

「ドイツ語1」・「ドイツ語2」・「ドイツ語3」を事前に履修しておくことが望ましいです。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション
【第2回】　Lektion 8：政治制度①（受動態）
【第3回】　Lektion 8：政治制度②（zu不定句）
【第4回】　Lektion 9：ドイツの歴史概観①（過去の表現）
【第5回】　Lektion 9：ドイツの歴史概観②（練習問題）
【第6回】　Lektion 10：音楽の国ドイツ①（副文（従属文）の語順）
【第7回】　Lektion 10：音楽の国ドイツ②（練習問題）
【第8回】　Lektion 11：ドイツの宗教事情①（関係代名詞）
【第9回】　Lektion 11：ドイツの宗教事情②（練習問題）
【第10回】　Lektion 12：二つのドイツ①（分詞の用法）
【第11回】　Lektion 12：二つのドイツ②（冠飾句）
【第12回】　Lektion 13：EUとドイツ①（接続法2式）
【第13回】　Lektion 13：EU とドイツ②（練習問題）
【第14回】　Lektion 14：ドイツの外国人、難民、移民①（接続法1式）
【第15回】　Lektion 14：ドイツの外国人、難民、移民②（練習問題）